

講義概要

授業科目名	単位数(時間数)	開講時期	講師名	時間
在宅看護概論	1単位(15)	1年次11月	*講師、専任教員 (実務経験のある教員等)	15 (15)

科目目標

在宅看護の概念を踏まえ、在宅看護の対象と看護の機能・役割が理解できる。

単 元	目 標	内 容	備 考
在宅看護の概念	1 在宅看護が必要とされる背景と基本理念が理解できる	1 社会の変化と在宅看護 <1回2h> 1) 社会的背景と在宅看護の変遷 2) 地域包括ケアシステム 3) 在宅看護の目的・役割 2 在宅療養者の権利 1) 意思決定への支援 2) 権利擁護 (アドボカシー)、成年後見制度、虐待防止 3) 情報管理	
在宅看護の対象	2 在宅看護の対象とその生活が理解できる	1 在宅看護の対象の理解 <2回4h> 1) 在宅療養者 2) 在宅看護の対象としての家族 (1) 家族介護者の理解 ・家族介護者のアセスメント ・家族介護者の健康(レスパイト) ・家族関係の調整 2 在宅療養者の生活 1) 生活の場の種類 2) 生活様式と価値観	
在宅看護の機能と役割	3 在宅療養を支える社会資源活用が理解できる	1 在宅療養に必要な社会資源 <1回2h> 1) 在宅療養を支える保健・医療・福祉制度 (1) 健康保険法 (2) 介護保険法 (3) 障害者総合支援法 2) 在宅療養を支える専門職とチームケア <*1回2h> (1) 退院支援・退院調整 (2) 地域連携 (3) ケアマネジメント・ケースマネジメント 3) 在宅療養を支える居住環境・日常生活用具	
	4 地域における看護の機能と役割が理解できる	1 訪問看護の概要 <1回2h> 1) 訪問指導と訪問看護の実施機関 2) 訪問看護の機能と役割 (1) 訪問看護制度と法的枠組み (2) 訪問看護サービスの仕組みと提供 (3) 地域における訪問看護師の役割 2 療養の場の移行に伴う看護 1) 外来看護 2) 訪問看護(医薬品、医療製剤の調達方法) 3) 入所施設での看護 4) 通所施設での看護 3 地域における保健活動 <*1回2h>	【評価】 筆記試験 (1h)

講義概要

授業科目名	単位数(時間数)	開講時期	講師名	時間
在宅療養者の健康状態に応じた看護	1 単位(30)	2 年次 5 月	*講師、専任教員 (実務経験のある教員等)	30 (30)

科目目標 在宅で療養する対象の健康状態・状況に応じた看護が理解できる。

単 元	目 標	内 容	備 考
在宅療養生 活の安心を 維持する看 護	1 安心した在宅療養に必要な看護が理解できる	1 安心した生活の保障 < 1 回 2 h > 1) 24 時間の連絡体制、相談・訪問 2) 在宅におけるリスクマネジメント (1) 感染管理 (2) 災害時の対応と予防 (3) 転倒・転落の防止 (4) 誤嚥・窒息の防止 (5) 熱傷・凍傷予防 (6) 熱中症の防止 (7) 閉じこもりの予防 (8) 独居高齢者等と火災予防	老老介護・単身 高齢者への支 援も含む
	2 日常生活の低下予防及び疾病の再発予防が必要な療養者の看護が理解できる	1 日常生活活動の低下予防への看護 < 2 回 4 h > 1) 状態のアセスメントと環境整備 2) 合併症の予防 3) 生活意欲の向上 4) 家族の健康状態と介護負担 5) 社会資源の活用・調整 2 疾病の再発予防が必要な療養者への看護 1) 異常の早期発見と対応 2) 療養者・家族のセルフマネジメント力への支援 3) 医療管理の継続と支援 (1) 外来通院中の療養者に対するケア (2) 服薬状況の把握 4) 社会資源の活用・調整	
在宅療養者 の健康状態・ 状況に応 じた看護	1 回復期(リハビリテーション期)にある療養者の看護が理解できる	1 障害を持ちながら生活する人の看護 < * 3 回 6 h > 1) 機能障害と在宅での生活のアセスメント 2) 居住環境のアセスメント 3) 合併症の予防対応 4) 在宅リハビリテーション 5) 社会資源の活用・調整	脳卒中の事例 筋萎縮性側索 硬化症 (ALS) の事例 悪性腫瘍の 事例
	2 慢性期にある療養者の看護が理解できる	1 難病で療養する対象の看護 < * 3 回 6 h > 1) 状態のアセスメントと状態に合わせた援助 2) 難病療養者・家族のセルフマネジメント力への支援 3) 急性憎悪の早期発見と対応 4) 社会資源の活用・調整	
	3 終末期にある療養者の看護が理解できる	1 在宅におけるエンドオブライフケアの適応 < * 4 回 8 h > 2 在宅でのエンドオブライフケアの看護師の役割 1) 状態のアセスメントと療養の経過 2) 症状コントロール (1) 薬物管理 (2) 医師・薬剤師との連携 3) 意思決定への支援 4) 家族への指導と支援 5) 24 時間の支援体制 6) グリーフケア	
子どもの在宅看護	1 在宅で療養する子どもへの看護が理解できる	1 在宅で療養する子どもの看護 < * 1 回 2 h > 1) 子どもの療養生活を支える制度 2) 家族への支援	【評価】 筆記試験 (1 h) 自己学習 (1 h)

講義概要

授業科目名	単位数(時間数)	開講時期	講師名	時間
在宅看護技術	1 単位(30)	2 年次 6 月	*講師、専任教員 (実務経験のある教員等)	30 (30)

科目目標

在宅で療養する人の生活を支援する看護技術が理解できる。

単 元	目 標	内 容	備 考
在宅看護に必要な基本技術	1 訪問看護師に求められる基本技術が理解できる	1 訪問看護師に求められる基本技術 < 4 回 8 h > 1) コミュニケーション技術 2) 相談・指導技術 3) 訪問時のマナー・初回訪問 2 生活環境の調整 1) 安全で快適な居住環境の条件 2) 社会資源の活用と工夫 3 在宅における生活支援技術の特徴 1) 経済性・効率性・簡便性を踏まえた援助 4 在宅におけるアセスメント 1) フィジカル 2) メンタル 3) 介護体制 4) 環境	【校内実習】 < 1 回 2 h > 訪問マナーと初回訪問 < 1 回 2 h > 国際福祉機器展見学
	在宅における生活支援技術	1 在宅における日常生活援助と医療処置が理解できる 1 食事の援助 < 10 回 20 h > 1) 楽しみ、安全性、安楽 2) 食事内容の選択・食材調達に関する援助 3) 栄養補助食品の種類と選択方法 2 経管栄養法の管理 (胃瘻・腸瘻) 1) 経管栄養法の適応と条件 2) 経管栄養法の管理 3) 在宅における安全管理と支援 3 在宅中心静脈栄養法の管理 1) 中心静脈栄養法の適応と条件 2) 中心静脈栄養法の管理 3) 在宅における安全管理と支援 1 排泄の援助 1) 排泄補助用具の種類と選択方法 2) 排泄障害への援助(敵便、腹部マッサージなど) 3) 膀胱留置カテーテルの管理 1 清潔の援助 1) 在宅での清潔援助の種類 2) 在宅における清潔援助の方法 1 活動・移動・休息 1) ADL / I ADL のアセスメント 2) 移動時の安全確保 3) 移動補助具の種類と選択方法 4) 療養者と家族への支援・指導 1 呼吸・循環 1) 在宅酸素療法 2) 在宅人工呼吸療法 3) 在宅における安全管理と支援 (1) 気管内吸引 (2) 気管切開部の管理 (3) 人工呼吸器 4) 療養者・家族への支援指導	【校内実習】 < 1 回 2 h > 嚥下機能が低下した人の食事への援助(胃瘻の管理) 【校内実習】 < 1 回 2 h > 入浴介助 洗髪介助 【校内実習】 < 1 回 2 h > 吸引(口腔・鼻腔・気管内) 気管切開部の管理 【校内実習】 HOT < * 1 回 2 h > 【評価】 筆記試験(1h) 自己学習(1h)

講義概要

科目名	単位数(時間数)	開講時期	講師名	時間
在宅看護過程	1 単位(15)	2 年次 9 月	専任教員 (実務経験のある教員等)	1 5 (1 5)

科目目標：在宅看護の特徴を踏まえ、在宅療養をしている人の看護過程の展開が理解できる。

単 元	目 標	内 容	備 考
在宅看護過程の展開	1 在宅看護過程の特徴が理解できる	1 在宅看護過程の視点 <2 回4h> 1) 療養者と家族一人ひとりの価値観や人生観 2) 療養者と家族がのぞむ生活 3) 療養者と家族の習慣 4) 自己決定とセルフケア 5) 支援体制	ICF の概念を含む
	2 情報収集の視点が理解できる	1 情報収集の視点 1) 療養者の疾病、介護者、家族の健康状態、健康管理能力 2) 療養者と家族の在宅療養への思い 3) 療養者と家族の関係 4) 住環境と経済状態 5) 活用している社会資源	
	3 在宅看護におけるアセスメントが理解できる	1 在宅看護におけるアセスメント 1) 療養者のアセスメント 2) 家族、介護者のアセスメント 3) 住環境のアセスメント 4) 社会資源のアセスメント	
	4 設定した目標のもとに在宅看護計画が立案できる	1 目標の設定 1) 療養者・家族を対象とした看護目標 2) 療養者・家族との目標の共有化 3) 在宅療養を維持・継続していける目標 2 看護計画立案 1) 在宅療養を維持・継続していける看護計画 2) 生活環境を意識した看護計画	
	5 看護活動と評価の視点が理解できる	1 看護活動と評価 1) 訪問間隔、訪問時間の調整 2) 日常生活援助、医療処置 3) 療養者と家族への指導 4) 社会資源の活用への援助 5) 緊急時の対応 6) 満足度の評価 7) 計画の修正	
		【演習】 <5 回10h> 事例: 医療依存度が高い居宅療養者	【評価】 筆記試験 (1 h)